



随所に「和」のこだわりが見える
天然杉の香りに満ちた健康住宅⁺

子どもたちに、日本の四季がもたらす自然の暑さ・寒さを感じながら暮らしてほしいという施主の願いが込められている。



施主自らがデザインを手掛けたS邸は、瓦葺きの大屋根とかすかに赤みを帯びた外壁が印象的なルックス。ウッドデッキや芝生敷きの外庭はどことなく洋風のテイストだが、こだわったのは「和」の質感だ。玄関の手前には、瓦葺きの腕木門を設置。門をくぐると、今度は玄關脇の坪庭が目を癒してくれる。何とも心憎い演出ではないか。

そして、玄関を一步入ると、天然杉の良い香りと清々しい空気の世界が待ち受けている。「幻の漆喰」による内壁と、梁・柱の「音響熟成木材」、さらには素足に心地良い「うづくりの床」という、相川工務店がカイケンコーポレーションより提供を受けている健康建材の数々が生み出す住環境は、何物にも替え難い宝物と言えるだろう。ビジュアル的にも、無垢材の明るさが屋内全体に行き渡っていき気分爽快だ。

和を感じながら明るく健康に暮らす…日本人としてあるべき幸せが、この家にはあふれている。